



# IT全体を成功に導くカギ「MDM」を実現する 「DAMA-DMBOK」

## リファレンスデータとマスターデータ管理コース

「DAMA-DMBOK」ではエンタープライズ（企業や公共団体など）におけるデータの管理/統制に必要な機能を、10個のセグメントに体系化、整理しています。この10個のセグメントの中で、特に重要なマスタ系のデータに関わる領域を「リファレンスデータとマスターデータ管理」機能としてまとめています。

昨今、企業内外の広範囲にわたるデータ連携のニーズが非常に高まっています。それに伴い、コードの統一やマスターデータの整備・統合が不可欠であることが認識されはじめました。

本コースでは「DAMA-DMBOK」に準拠し、そもそもリファレンスデータ管理やマスターデータ管理とは何か？どうすれば最適な管理が実現できるのか？ということについて、計画、設計、開発、運用という各局面で必要な考え方や具体的な作業の進め方・成果物などについて解説します。

また、弊社のマスターデータに関するコンサルティング事例・ノウハウも適宜ご紹介しながら、より実践的な解説も行います。

前提条件(知識)：特になし

但し、別教育コース『「DAMA-DMBOK」基礎教育コース』を事前に受講していただくとより理解が深まります。

対象者：  
・コードの統一や、マスタ統合などの企画・立案に携わる方  
・DWHやCRMなどの情報系システムの構築に携わる方  
・EAの策定をはじめとした全社システム企画に携わる方  
・SI企業ご所属のMDMシステム提案を携わる方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:00・半日間

受講内容：

1. はじめに
2. 背景と課題
3. 定義とゴール
4. 基礎概念
  - ・概念と活動の概要
  - ・登場する組織と役割
5. 進め方・手順と推進上のノウハウ
  - ・リファレンスデータとマスターデータ統合に関するニーズの把握
  - ・マスターデータとリファレンスデータのソースと貢献者の特定
  - ・データ統合アーキテクチャの策定と維持
  - ・リファレンスデータとマスターデータ管理のソリューションの導入
  - ・マッチングルールの定義と維持
  - ・「ゴールド」レコードの構築
  - ・階層とアフィリエーションの定義と維持
  - ・新しいデータソースの統合の計画と実施
  - ・リファレンスデータとマスターデータの複製と配信
  - ・リファレンスデータとマスターデータへの変更管理
6. 他社事例